

「健康だからこそ、人は何でもできる」

～ 大人が子どもたちの心身の健康状態を見極めましょう ～

校長 竹谷 浩一

お子さんと一緒に穏やかな毎日を過ごせるのは、家族がみな元気だからです。健康上のトラブルがなく、心配する必要がないからです。当たり前のことですが、この機会に家族全員が健康で生活できることの素晴らしさについて、保護者の皆さんにも子どもたちにも考えてもらいたいと思います。

人の健康とは、体（フィジカル面）と心（メンタル面）ともに問題がない状態です。成長真っ只中の子どもたちは、多少の怪我や風邪程度ではびくともしませんし、回復するのもあっという間です。軽度の感染症等は、家で安静にしていれば時間が解決してくれますが、生活に支障が出るような病気や怪我はそうはいきません。朝、正門で子どもたちを出迎えているのですが、ある日突然三角巾で腕をつって登校してきたり、足を引きずりながら車から降りてきたりする姿に心が痛みます。「早くよくなるといいね。どのくらいかかりそう？」と声を掛けるようにしていますが、ただでさえ痛くて辛いのに、頑張っている姿に次の言葉が見つかりません。楽しみにしていた予定の直前だと本当に可哀そうになります。

楽しい学校生活を送るための条件は、心身ともに健康な状態で登校することです。勉強にも運動も友だちとのかかわりにも身が入ります。チャレンジし失敗も克服できます。

学校では毎朝の健康観察に加え、学年学級によって使用頻度は異なりますが、1人1台端末を活用して「おはようメーター」に取り組み始めています。その概要は次のとおりです。

*朝登校後、端末から「おはようメーター」を起動し、4項目の質問に各自が回答する方式

- 今の気持ちを教えてください。
- 今の体の状態を教えてください。
- 朝食を食べましたか。
- 何時に寝ましたか

※回答は選択式で、その日の気分にあった顔の表情アイコンをクリック

※担任は回答の内容から子どもに声をかけ、個々の様子を把握



以前は行政が主導して「早寝・早起き・朝ごはん」というキャッチフレーズを周知し、子どもたちの生活習慣の改善・定着を図っていましたが、端末普及に伴い、利用の用途が広がりました。

さて、お子さんの現状はいかがでしょう。子どもたちを取り巻く環境が変化し、様々なメディアを通じてオンライン上の動画やゲームが身近になりました。スマホを見ながら寝落ちしている子どももいるのではないのでしょうか。金曜日や土曜日、祝日前日の夜更かしは仕方ありませんが、平日や日曜日の夜は少し注意が必要だと思います。文献等を調べてみると、低学年で10時間、中学年で9時間、高学年で8時間が理想だそうです。朝気持ちよく目が覚め、朝食をとり、余裕をもって行動に移すためのルールを家庭で決めておくことをお勧めします。

心の状態を詳細に把握するのは、困難を極めます。保護者の皆さんや教職員が日ごろから子どもとコミュニケーションを図り、信頼関係の下、サインを発しやすい雰囲気を大切にする以外に効果的な策はありません。これからも家庭と学校が連携しながら見守っていかれたらと思います。

校長のつぶやき(ショート)

「1月は行く 2月は逃げる 3月は去る」と言いますが、1月が行きました。今年度も残り2カ月程ほどとなりました。なかなか今の学年でやり残したことを自分で考え、そのことを実行するのは難しいと思います。学期末や学年末テストの点数だけでは量れるものではありません。ではどういう思いで次の学年や中学校に進級・進学したらよいのか…。それは自分が納得しているかどうかだと思います。

逃げて去るといわれている、2月と3月をどのように過ごすか。その真価が問われますね。学校でも各担任から関連する話はこれから何度もします。各家庭においても話題にしてみてください。

【2月の主な行事予定】  参観ができます

日	曜	週	予 定 等
2/1	土		土曜チャレンジスクール 4校音楽の集い(大宮東中学校)
2	日		
3	月	B	放課後チャレンジスクール
4	火	B	保健集会
5	水	B	委員会
6	木	B	教育相談日 G・Sモジュール
7	金	B	保幼小連絡会
8	土		
9	日		
10	月	A	安全点検
11	火		建国記念の日
12	水	A	クラブ 教育相談日
13	木	A	学校運営協議会 G・Sモジュール
14	金	A	
15	土		土曜チャレンジスクール
16	日		
17	月	B	放課後チャレンジスクール G・Sモジュール
18	火	B	体育集会
19	水	B	教育相談日 クラブ
20	木	B	 2年美術館授業
21	金	B	 金管校内発表会
22	土		
23	日		天皇誕生日
24	月		振替休日
25	火	A	1・2年・なかよし授業参観・懇談会
26	水	A	全学年5時間 教育相談日 3・4年授業参観・懇談会
27	木	A	G・Sモジュール
28	金	A	6年授業参観・懇談会(巣立ちの会)
3/1	土		
2	日		
3	月	A	
4	火	A	お話朝会 音楽集会
5	水	A	委員会
6	木	A	教育相談日
7	金	A	6年生を送る会

詳細は学年だよりを御参照ください。

【1月の安全点検】 異常はありませんでした。

【2月の生活目標】

元気に運動しよう

【令和7年度の主な行事予定】

- 4月 8日(火) 第1学期始業式・入学式
 - 22日(火) 5・6年授業参観懇談会
 - 23日(水) 2～4年授業参観懇談会
 - 25日(木) 1年・なかよし授業参観懇談会
 - 5月 2日(金) 振替休業日(5/24分)
 - 24日(土) 学校公開日
 - 6月 13日(金)～15日(日)
5年館岩自然の教室
9日(月)・16日(月)
5年生振替休業日
 - 7月 18日(金) 1学期終業式
 - 8月 27日(水) 2学期始業式
 - 10月 27日(月) 振替休業日(11/1分)
 - 11月 1日(土) 運動会
6日(木)・7日(金) 6年修学旅行
 - 12月 24日(水) 2学期終業式
 - 1月 8日(木) 3学期始業式
24日(火) 卒業証書授与式
 - 3月 26日(木) 3学期修了式
- ※あくまでも現時点での予定です。変更することがありますのでご了承ください。

【地域とともにある学校づくり】

本校の教育活動を充実させるために、保護者や地域の方が協力し、多くの活動を行っています。それぞれの団体の活動の内容等を紹介しますので、学校だより最後のページをご覧ください。

【コミュニティ・スクール広報誌「コミ丸」発行のお知らせ】

教育委員会から、コミュニティ・スクールをはじめとした「学校と家庭と地域をつなぐ事業」について「詰め込み、丸ごと」掲載する広報誌「コミ丸」について案内がありました。右のQRコードからアクセスできます。ご覧ください。



のびゆく
芝川っ子



1月14日(火) 6年薬物乱用防止教室

ライオンズクラブの講師の方に薬物乱用の危険や、身近な誘惑等について講演をいただきました。子どもたちは薬物の名前は聞いたことがあっても、具体的な恐ろしさや身近に潜む危険について、改めて話を聞くことで、自分事としてとらえていました。

1月15日(水) 2年 いのちの授業

生活科の単元「明日へジャンプ」の授業で、助産師の方をお呼びし、いのちの授業を行いました。お母さんのおなかの中での赤ちゃんの様子や生まれて来るまでの過程について話を聞きました。子どもたちも真剣に話を聞いていました。再現した妊婦のおなかを触らせてもらう体験では、思わず、声が上がっていました。保護者の方にも数名参加いただきました。ありがとうございました。



1月16日(木) 3年 市立博物館見学

子どもたちは、4グループに分かれて5つの活動を行いました。昔の道具を使ってみたり、実物を見ながら灯りの歴史を聞いたりすることで、自分たちの生活がいかに便利になっているか実感していました。

博物館までの長い道のりも。往復、元気に歩いていました。



1月24日(金) なかよし学級 さいたま市特別支援教育作品展「大宮区」

大宮区役所を会場に、各校の特別支援学級の子どもたちの作品が集まりました。なかよし学級の子どもたちは、頒布会を楽しんだり、いろいろな作品を見学したりしました。作品を見ながら「これつくってみたい」などの声も聞かれ、他校の作品に刺激を受けていました。



地域とともにある学校づくり ～子どもたちの豊かな育ちを支えるために～

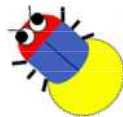
子どもたちの未来、地域の未来のためにも、家庭と地域、学校が連携して子どもたちをはぐくんでいくことが求められています。さいたま市の子どもたちは、保護者や地域の方、卒業生、ボランティア団体など、多くの皆さんに支えにより、安心・安全に学校生活を送ることができます。

○コミュニティ・スクール

「学校運営協議会」を設置し、地域住民、保護者、ボランティア、校長、教職員等がメンバーとなって、子どもたちのために話し合いをしています。

学校運営協議会と地域の団体等が連携し、協働活動を行うことで、地域とともにある学校づくりを推進します。

市HP



○防犯ボランティア

保護者や地域住民・関係団体等が、防犯ボランティアとして登下校の見守り活動をしています。できるときにできる範囲で取り組んでもらっています。子どもたちと一緒に見守りませんか。



○図書ボランティア

本の読み聞かせをしたり、図書室の環境整備を行っています。本の楽しさを伝えるとともに、読書を通して、豊かな心の育成を目指します。



子どもたちの笑顔のために



○芝川小学校PTA

芝川小学校のPTAでは、保護者と教職員が連携し、様々な取組を実施しています。

子どもたちも地域の方と関わりを持つことで地域の皆さんに支えられていることを感じられ、安心して学校生活を送ることができます。

<PTA活動の一例>

- 通学班編成
- 登下校の立哨による見守り
- PTA主催の芸術鑑賞教室 等

○チャレンジスクール

放課後チャレンジスクールでは、余裕教室等を活用してスポーツ・文化活動・地域住民との交流活動等を実施しています。

土曜チャレンジスクールでは、子どもたちに学ぶ楽しさを教え、基礎学力の向上や学習習慣の定着を図るため、自主的な学習や体験活動等を実施しています。



ぜひボランティアとしても関わっていただき、子どもの豊かな育ちを支えていきましょう。

市HP



○おやじの会

保護者や地域住民を中心に芝川小の子どもたちが楽しめる様々なイベントの企画や学校行事の手伝いをしています。

<おやじ活動の一例>

- 夏祭り、秋祭りの企画運営
- 学校の施設を借りたヤギの飼育
- 運動会テントの設置や片付け 等





祝 チャレンジスクール20周年

さいたま市では、市立の全ての小中学校で、子どもたちに学習活動や体験活動を提供するチャレンジスクールという事業を行っています。

この事業は、ボランティアが作る実行委員会が活動の内容や回数を決めて運営しています。

令和5年度のチャレンジスクールでは、延べ4万人がボランティアとして活動し、延べ11万7千人の子どもたちが参加したんだよ。



大東小学校のチャレンジスクールの活動を紹介します

活動の最初は、みんなで宿題に取り組みます。大東小学校はICTの先進校であることから、タブレットを使って学習する姿も見られました。

続いて、このチャレンジスクールの特徴である「論語」の学習です。10年以上続くプログラムで、教材はスタッフの方が作成しています。

最後は工作。子どもたちが作り方を教え合う場面が見られました。

全体を通して、子どもたちの生き生きとした姿、そしてボランティアスタッフの方の熱意とチームワークが印象に残りました。



論語の学習。子どもたちがスラスラと暗唱していました



ボランティア

ボランティアスタッフ同士で、意見を出し合うこと、役割を分担すること、協力することを心がけています。



ボランティアの方の打ち合わせ

20周年の記念行事を開催しました

チャレンジスクールの前身である「地域子ども教室」は、平成16年にスタートし、今年で20年目となることから、その記念行事を11月に開催しました。行事では、これまでのボランティアの皆さんの活躍に感謝の気持ちを伝える動画を上映したほか、積み重ねてきた20年の振り返りとこれからのに向けての意見交換を行いました。



子どもたちからのメッセージに参加者も笑顔になりました

ことばの解説 教室コーディネーター

チャレンジスクールを運営するボランティアが作る実行委員会の中で、その中心的な役割を果たすボランティアです。他のボランティアや学校職員である学校地域連携コーディネーターと協力して実行委員会の運営を行います。

チャレンジスクールの運営に携わるボランティアを、「ボランティアシティさいたまWEB」で募集しています。



ボランティアシティ
さいたまWEB

PTAってどんな活動をしているの？

PTAは、保護者と教職員とが協力して児童生徒の健全な成長を図るための組織です。
今回は、「さいたま市優良PTA」として表彰された団体の取組を紹介します。

片柳小学校のPTAの活動を紹介します

片柳小学校のPTAでは、PTA主催の **やなぎっ子フェスタ** のほか、自治会と連携して防犯ボランティアを募ったり、小学校のあいさつ運動に参加したりと、**地域の団体や学校と協働して活動**を行っているそうです。



熱気球の体験イベント



保護者

子どもたちは、地域の方々と直接関わり合うことで、自分たちが **地域の皆さんに支えられている**と感じているようです。

また、PTA活動に参加したいと思っているけれど、平日は仕事等の都合で参加できないという方が増えていることを受けて、**在宅ホリデー委員会**という仕組みを導入したそうです。

これまで学校で行っていたベルマークの集計作業や広報誌の作成といった作業を、**学校に来ることなく、自宅で担当していただける**体制を作りました。



PTA会長

このほか、SNSの公式アカウントを作って情報発信をすることで、活動の内容や方法などを会員に理解してもらえるように努めているとのことでした。



PTA会長

学校の部屋を一日お借りして、**活動内容について何でも聞くことができる Look in PTA**という会を設けました。

春里中学校のPTAの活動を紹介します



PTA会長

親子で参加できる公立高校の合同説明会を近隣の中学校のPTAと共同で開催しました。



合同説明会

公立高校18校の協力があり、見沼区・北区から650組を超える参加者がありました。また、共同開催とすることで、各中学校PTAの準備にかかる**負担を軽減することができた**そうです。

いろいろな学校の説明を聞くことができ、入試についての心配がなくなりました。子どもも目標となる学校を見つけることができました。



保護者

このほか、女子バレーボールの元日本代表選手や声優を招いた **夢を与える講演会**を学校と共催で行うなど、**地域や学校と連携して協働活動**をしているとのことでした。



PTA会長

保護者に理解していただくため、**役員の業務やPTA活動全般を紹介する動画**を作成し、役員募集にも活用しました。